

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成31年4月12日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づいて、補足説明をさせていただきます。

今日は若干会議の件数が多いので、順次、御説明をさせていただきます。

まず、1ページ目下段になります。4月16日火曜日、(3) 第5回のシビアアクシデント技術評価検討会が午前中に開催されます。こちらは、安全研究プロジェクトの評価のプロセスの中で、分野ごとに有識者の方々に評価について御議論いただくというものであります。こちらの会議では、シビアアクシデント関係の研究プロジェクト、こちらは1件でございますが、中間評価について議論をいただくというものであります。

次に、2ページ目上段、(4) 第4回実用発電用原子炉施設の廃止措置計画に係る審査会合、こちらが同日16日火曜日の同じく午前中に開催されます。こちらの会合は、今回から山中委員が出席をされます。

審査の対象は2件予定されておりまして、まず、1件目といたしまして、四国電力の伊方発電所1号炉、2号炉、この廃止措置計画についての審査ということで、前回に引き続きのコメント回答の予定でございます。

2件目は、関西電力・大飯発電所1号炉、2号炉、こちらも前回に引き続きの審査、コメント回答の予定でございます。

次に、その下、(5) 第9回のプラント安全技術評価検討会、こちらが同日午後開催される予定です。こちらは先ほどの検討会と同様、安全研究プロジェクトの評価を行うというものでございます。プラント安全技術の関係で、事後評価3件、中間評価1件についての議論の予定でございます。

その下の(6) 第705回の審査会合が午後開催される予定でございます。こちらは、審査の対象は1件の予定でございます。東北電力・女川発電所2号炉についての審査でございます。内容は、耐震設計の基本方針及び外部火災対策などについてのコメント回答が行われる予定でございます。

次に、その下、(7) 第268回の核燃料施設等に係る審査会合が、こちらも同日4月16日火曜日の午後2時から開催される予定となっております。こちらの審査の対象、議題

は2件、記載のとおりでございます。

1件目が、日本原電の廃棄物埋設施設の許可に関する審査でございます。こちらは順次審査を行っているところでございますけれども、今回は地盤の液状化の判定の論点などについてのコメント回答の予定でございます。

議題の2番目は、原子力研究開発機構大洗研究所の廃棄物管理施設の変更に係る設工認の審査でございます。こちらは、前回、1月の審査会合で申請についての説明をお聞きしたところですが、その後、補正を準備しているということで、その準備状況についての説明をお聞きする予定でございます。

次に、3ページ目上段の(10)第2回の材料技術評価検討会、ここからは4月17日水曜日の午後に開催される予定でございます。こちら先ほどと同様、安全研究プロジェクトの評価ということで、材料技術関係の研究についての中間評価1件についての議論の予定でございます。

その下、(11)第36回の技術情報検討会が同日2時から開催される予定でございます。こちらは定例的に開催されているものでございます。御案内のとおり、事故・トラブル、あるいは最新知見から規制に反映する必要があるというものをスクリーニングする、そういった作業・検討を行っているものでございます。

今回も同様に、まず、議題1として事故・トラブル情報について、また、2として調査・研究から得られる最新知見について、また、3として規制活動等から得られた知見について、これらについてのスクリーニングの作業・検討を行うというものでございます。また、そうした基準・制度への反映に向けた進捗状況の確認も行うという予定でございます。

その下、(12)第8回の主要原子力施設設置者(被規制者)の原子力部門の責任者との意見交換会、こちらが同日17日水曜日の夕方5時から開催される予定でございます。通称「CNO会議」と呼んでいる会議でございます。今回は伴委員のほか、更田委員長、山中委員も出席をする予定となっております。

議題は、記載の2件が予定されております。

まず、原子力エネルギー協議会(ATENA)についてということで、これについて、この会議でこれまで説明を事業者からお聞きしておりますけれども、引き続きその性格などについて説明をお聞きするという予定でございます。

また、議題2では、特定重大事故等対処施設の設置に向けた取組状況について、原子力事業者から現状についての説明をお聞きするという予定となっております。

次に、その下、4月18日木曜日、(13)第9回の新規制要件に関する事業者意見の聴取に係る会合、こちらが10時半から開催される予定でございます。

こちらは、議題にございます、事業者が技術評価を希望する学協会規格についての意見聴取ということで、前回、3月末の会合では事業者からの意見を聴取しました。それに続いて、今回、学協会から技術評価を希望する規格についての意見をお聞きするとい

う予定でございます。

続きまして、4ページ目、(14) 第3回燃料技術評価検討会が同日18日木曜日の午後に開催される予定です。こちらは先ほどまでの検討会と同様、安全研究プロジェクトの評価ということで、燃料技術部門についての技術評価1件についての議論の予定でございます。

次に、その下、(15) 第29回の東海再処理施設等安全監視チーム会合、こちらが同日午後1時半から開催される予定でございます。こちらの議題は、記載のと通りの4件の予定でございます。

まず、1件目が「東海再処理施設に関する地震等について」ということで、東海再処理施設の廃止措置計画の変更申請についての審査、そのうち地震等に関する審査を行うということになっております。こちらは、基本的な方針について、委員会で議論が行われ、こちらの監視チーム会合に石渡委員ほかも参加して、実施するという方針が委員会で決まったと。それを受けて実施するものでございます。

次に、議題2が「核サ研のプルトニウム燃料第二開発室における管理区域内汚染の問題について」でございます。この事象について、法令報告第4報が4月4日に提出されております。これを踏まえての評価の案をお示しして、意見交換を行うという予定になっております。

次に、議題3が「廃棄物処理の加速に向けた検討アクションプランについて」ということで、こちらはJAEAにおいて、現在、作成作業、検討中のこのプランについて、作成作業の状況をお聞きするという予定でございます。

最後に、議題4が「施設中長期計画について」ということで、こちらはJAEAが毎年策定・改定をしている計画ということでございますが、今年度初めに改定を行った内容について、説明をお聞きして確認をするということを予定してございます。

最後に、5ページ目、委員の現地視察等についての予定が1件追加されております。

5ページ目の(2) 東京電力・福島第一原子力発電所の現地視察、こちらを4月18日、19日の2日間にわたりまして山中委員及び伴委員が調査に行くという予定になってございます。こちらは、福島第一原子力発電所の現状、これを確認するという目的で実施するものでございます。

視察の場所としては、そこの予定にもございます大熊町の旧福島県原子力災害対策センター、こちらはもう使われていないところでございますが、ここを見た後に福島第一原子力発電所に行きまして、様々な箇所、例えば3号機のオペレーティングフロア、あるいは4号機、5号機の原子炉建屋ペデスタル等々を視察するという予定となっております。

私からの御説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

それでは、質問のある方は手をお挙げください。どうぞ。

○記者 時事通信のワタナベと申します。よろしくお願いします。

最後に紹介いただいた福島第一原発への現地視察なのですけれども、この時期に行くことに、先ほど1Fの現状を確認する目的ということでしたけれども、この時期に何かつけ加えて狙いとかはありますでしょうか。

○大熊総務課長 そうですね。1Fの状況をしっかり確認していくということは規制委員会として重要ですので、そういう意味で、行けるときには可能な委員が行くというのが基本にございますが、強いて一つつけ加えるとすれば、先般の委員会で議論がございましたが、いわゆる1Fの検討会は伴委員が担当するということにもなりました。そういうことも踏まえて、伴委員、山中委員で視察をするということになっているということだと理解をしております。

○記者 分かりました。ありがとうございます。

○司会 次に、御質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。どうぞ。

○記者 テレビ朝日、ヨシノです。

東京電力がはっきりしないのですけれども、どうも来週のちょうど月曜日、15日月曜日か16日の火曜日に3号機使用済燃料の取り出しを開始すると思うのですが、月曜日に開始する場合、もう取り出しが始まってしまっているのに、3号機の取扱機の不具合原因調査及び今後の対応というの、何かちょっとかぶるような気がするのですけれども、この辺は、例えば使用済燃料取り出しが始まったということの報告も含めて検討することになるのでしょうか。

○大熊総務課長 今、御指摘いただきました3号機の燃料取り出し準備が進んでいて、近々始められそうだと。その日程について、東京電力のほうで近々に発表されるだろうということは伺っていますが、明確な日にちまではまだちょっと私どもも確認はできておりません。月曜日かどうかということも承知をしておりますけれども、ここで何か議論してからでないといけないとか、そういうものではございませんので、しっかり進めていただいて、その状況をしっかり1F検討会で確認をするということだと思います。

○司会 ほかに御質問はございますでしょうか。どうぞ。

○記者 朝日新聞のカワダと申します。

木曜日の東海再処理の会合なのですけれども、核サ研の報告書4報を受けて評価の案を示すという、この評価というのはどういう代物でしょうか。

○大熊総務課長 こういった事故・トラブルがあった場合、特に法令報告に該当するような事象の場合、法令に基づく報告書、原因と対策の報告書の提出を受けて、これを原子

力規制委員会として評価するというのを、委員会として議論して決定するというのが従来やってきているプロセスであります。

この場で規制庁としての事業者からの報告書に対する評価の案を示して、議論をします。これを最終的には委員会に諮って、そこで了承いただくと、こういうプロセスになっていく、その過程ということになります。

○記者 分かりました。ありがとうございます。

○司会 ほかに御質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—